

「椋尾篁：アニメ背景美術の先駆者」展、 佐世保市博物館島瀬美術センター（長崎）にて開催



展覧会フライヤー（表面）

左：ゼロ弾きのゴーシュ（1982/監督：高畑 勲）©オープロダクション

右：さよなら銀河鉄道999：アンドロメダ終着駅（1981/監督：りんたろう）©松本零士／零時社・東映アニメーション

画像提供：ムクオスタジオ

『銀河鉄道999』や『ゼロ弾きのゴーシュ』、『幻魔大戦』、『悪魔くん』など、日本アニメ史に残る名作の数々。その世界観を形作る「背景画」を手がけたのは、長崎県佐世保市三川内出身の美術監督・椋尾篁（むくおたかむら／1938-1992）です。名前を知らずとも、その仕事をテレビやスクリーンを通して目にしてきた人は少なくありません。

画家を志しながらも、アニメの世界に進んだ椋尾は、絵画と映像の表現の違いを実践で学び、キャラクターと同様に存在感のある背景表現を追求。商業アニメの勃興期でもある1970年代から1990年代初頭にかけて、多くの作品で美術監督をつとめました。その仕事は伝説のように語り継がれながらも、実物を鑑賞する機会は今までほとんどありませんでした。

出身地で初の回顧展となる本展では、代表作を中心に手描きの背景画や設定資料などを展示します。展覧会を通して、アニメ背景美術の卓越した表現と、その価値を見つめ直します。

展覧会概要

椋尾篁：アニメ背景美術の先駆者

MUKUO Takamura: The Pioneer of Anime Background Art

会 期：2026年4月25日（土）-5月24日（日）

時 間：10:00-18:00（最終入館17:30）

休館日：火曜日、5月7日（木）※5月5日（火）は開館

会 場：佐世保市博物館島瀬美術センター

〒857-0806長崎県佐世保市島瀬町6-22

（JR佐世保駅東口から徒歩約20分、タクシー約4分、バス約5分（2番バス乗車、「島瀬町」バス停下車）／MR佐世保中央駅から徒歩約5分）

観覧料：大人1,300円、学生500円、中学生以下無料

問合せ：pr@eizo.ws／090-5088-1987

公式ウェブサイト：<https://www.eizo.ws/mukuo/>

主 催：椋尾篁作品展実行委員会

企 画：明貫紘子

宣伝協力：長崎新聞社

後 援：佐世保市、佐世保市教育委員会、朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、NCC長崎文化放送、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、長崎国際テレビ、三川内陶磁器工業協同組合

協 力：有限会社ムクオスタジオ、椋尾圭子、MUKUO Takamura Project、映像ワークショップ合同会社

展示作品

椋尾篁が美術を手がけた多数の作品のうち14作品をセレクトし、背景画や美術ボード、設定資料などを展示します。

〈展示作品リスト〉

『母をたずねて三千里』（1976／監督：高畑勲）© NIPPON ANIMATION CO., LTD.

『銀河鉄道999』（1979／監督：りんたろう）©松本零士／零時社・東映アニメーション

『さよなら銀河鉄道999：アンドロメダ終着駅』（1981／監督：りんたろう）©松本零士／零時社・東映アニメーション

『がんばれ元気』（1980／監督：りんたろう）©小山ゆう・小学館／東映アニメーション

『セロ弾きのゴーシュ』（1982／監督：高畑 勲）©オープロダクション

『幻魔大戦』（1983／監督：りんたろう）©KADOKAWA 1983

『カムイの剣』（1985／監督：りんたろう）©KADOKAWA 1985

『火の鳥 鳳凰編』（1986／監督：りんたろう）©1986 手塚プロダクション/KADOKAWA・東北新社*

『迷宮物語：工事中止命令』（1987／監督：大友克洋）©KADOKAWA 1986

テレビ版『悪魔くん』（1989／監督：佐藤順一／原作：水木しげる）©水木プロ・東映アニメーション

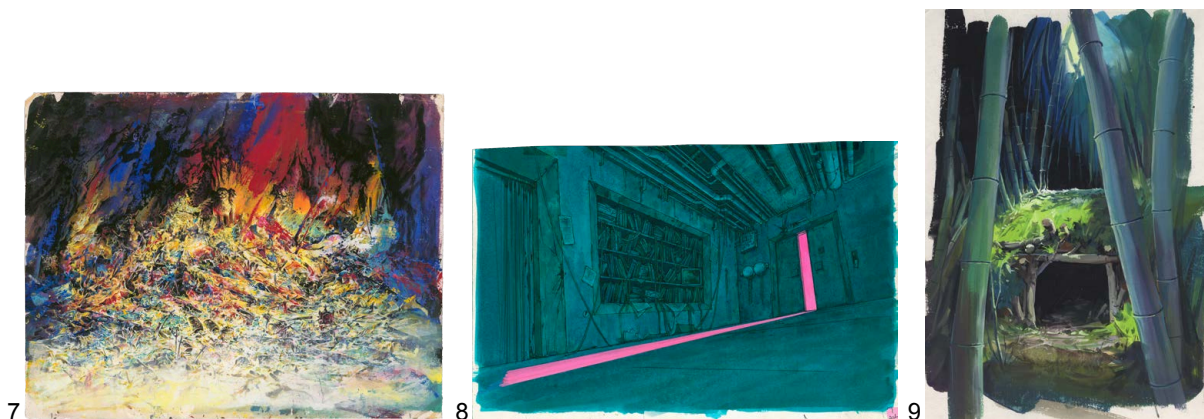
劇場版『悪魔くん』（1989／監督：佐藤順一／原作：水木しげる）©水木プロ・東映アニメーション

劇場版『悪魔くん：ようこそ悪魔ランドへ！！』（1990／監督：佐藤順一／原作：水木しげる）

©水木プロ・東映アニメーション

三国志：第一部・英雄たちの夜明け（1992／監督：勝間田具治）©シナノ企画

三国志：第二部・長江燃ゆ！（1993／監督：勝間田具治）©シナノ企画



1: 『母をたずねて三千里』 背景画 © NIPPON ANIMATION CO., LTD.

2: 『銀河鉄道999』 美術ボード ©松本零士／零時社・東映アニメーション

3: 『さよなら銀河鉄道999：アンドロメダ終着駅』 美術ボード ©松本零士／零時社・東映アニメーション

4: 『セロ弾きのゴーシュ』 背景画 ©オープロダクション

5: 『幻魔大戦』 美術設定 ©KADOKAWA 1983

6: 『幻魔大戦』 美術ボード ©KADOKAWA 1983

7: 『カムイの剣』 背景画 ©KADOKAWA 1985

8:『迷宮物語：工事中止命令』背景画 ©KADOKAWA 1986

9: テレビ版『悪魔くん』美術ボード ©水木プロ・東映アニメーション

*「手塚プロダクション」の「塚」は旧字体。ただし、文字化けの可能性のあるweb媒体等は新字体表記も可。

展覧会の見どころ |

歴史に埋もれた巨匠の再評価／新しい文化財による地方活性化

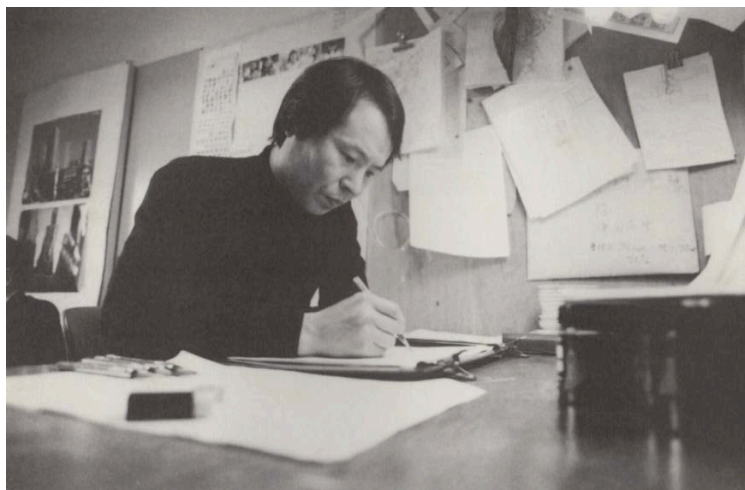
1970年から1990年代、椋尾篁は、キャラクターと同様の存在感を持たせた「物語を語る背景美術」を追求し、日本のアニメ表現に大きな影響を与えました。

本展では、美術監督をつとめた代表作を中心に、作品世界が構築されていったプロセスの一端を紐解きます。椋尾の仕事の再評価するだけでなく、生まれ故郷・長崎県佐世保市から発信し、文化資源を活かした地域づくりへとつなげていく点も本展の特徴です。

また、本展に先立ち、椋尾篁の仕事を未来に継承することを目的に立ち上がったMUKUO Takamura Projectは、椋尾篁作品展実行委員会と共に2025年末から約2ヶ月間にわたりクラウドファンディングを実施。アニメファンや地域の人々をはじめ、現役の美術監督らアニメ関係者からも多くの支援が寄せられ、約300万円の資金が集まりました。本展はその成果であると同時に、今後の巡回展などにつなげようとする新たなスタートでもあります。

作家プロフィール |

男鹿和雄、山本二三らに影響を与えた美術監督の巨匠



椋尾篁（むくお・たかむら／1938–1992）

長崎県佐世保市三川内生まれ。父は三川内焼の絵付師。大手印刷会社に就職したのち、武蔵野美術学校洋画科に入学。半藤克美に誘われてテレビアニメ『鉄腕アトム』の背景を描いたことをきっかけに、アニメの世界へ。東京ムービーを経て1968年にムクオスタジオ設立。東映動画、日本アニメーション、マッドハウスなどの代表作品の美術監督を多数つとめた。雑誌『アニメージュ』主催のアニメグランプリ美術部門で1979年の第1回目から5年連続で1位を獲得。1981年、アニメ美術監督として初の画集『さよなら銀河鉄道999：美術の世界』を窪田忠雄と共著で出版。

展覧会開幕式 |

開催日：2026年4月25日（土）10:15-10:45

会場：佐世保市博物館島瀬美術センター 1階ロビー

オープニングトーク |

開催日：2026年4月25日（土）13:00-14:00

会場：佐世保市博物館島瀬美術センター 1階ロビー

プレス内覧会について |

参加を希望される場合は以下のフォームから事前登録をお願いいたします

プレス内覧会 開催概要

日時：2026年4月24日（金）14:00-16:00 ※入場は15:30まで

会場：佐世保市博物館島瀬美術センター（長崎県佐世保市島瀬町6-22）

棕尾篁：アニメ背景美術の先駆者 プレス内覧会登録フォーム

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc2Am6221Eo6PspDaTPxSV70TFKVs5vkASHcXioGxAuHqfPGw/viewform?usp=publish-editor>

登録締切：4月21日（火）

※以後の登録も受付可能ですがプレスキット等のご用意のため、ご協力をお願いいたします。



メディアの皆様へ |

本展に関する取材・掲載のご相談、プレス向け画像素材のご利用はこちらから承ります

担当：坂本（映像ワークショップ合同会社）

TEL：090-9944-9998

MAIL：pr@eizo.ws

会社概要 |

映像ワークショップ合同会社（代表：明貴紘子）

石川県加賀市山中温泉本町2丁目ソ13-3

<https://www.eizo.ws/>

展覧会公式ウェブサイト／プロジェクト公式SNS |

ウェブサイト：<https://www.eizo.ws/mukuo>

X（旧Twitter）：[@mukuo_project](https://twitter.com/mukuo_project)

https://x.com/mukuo_project?s=20

Instagram：[@mukuo_takamura_project](https://www.instagram.com/mukuo_takamura_project)

https://www.instagram.com/mukuo_takamura_project/



ウェブサイト